

1. 内外政

- ・3日、議会は、統一地方選挙の投票日を6月14日に決定。
- ・7日、ティモフティ大統領は、モルドバの中立政策は誤りであった、再検討せねばならない旨発言。
- ・8日、ティモフティ大統領は、アシガバード(トルクメニスタン)を訪問し、ベルディムハメドフ・トルクメニスタン大統領と会談。
- ・10日、ガブリチ首相は、ティラスポリを訪問し、シェフチューク「沿ドニエストル共和国大統領」と会談。
- ・6日、中央選挙管理委員会は、統一地方選挙の実施計画を確定。
- ・22日、ウィーンにおいて、沿ドニエストル問題に関する「5+2」協議が開催。
- ・22日、ティモフティ大統領は、当地訪問中のグリボウスカイテ・リトアニア大統領と会談。
- ・28日、ガブリチ首相は、当地訪問中のトゥスク欧州理事会議長と会談。また、トゥスク議長は、ガガウズ自治区を訪問し、ブラフ同自治区首長と会談。
- ・29日、ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、当地訪問中のヴェントゥス＝ロシマヌス・エストニア外相と会談。
- ・29日、統一地方選挙の出馬登録が開始。
- ・30日、ティモフティ大統領及びゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、当地訪問中のドゥカルNATO事務局長補と会談し安全保障につき議論。

2. 経済

▼マクロ経済

3日、モルドバ政府は2015年予算案を承認。歳入は303億3,800万レイ、歳出は343億1,500万レイ、財政赤字は約40億レイと見積もられている。2015年のGDPは1%減(2014年は4.6%増)と予測。公的支出の65.2%は社会セクターに充填。国内通貨レイの年平均レートは19.3レイ/1USドル前後と予測。2014年に比べ、輸出高は10%減、輸入高は15%減の見込み。その他、統一地方選挙実施のため、6,500万レイが割り当て。

▼経済改革・IMF

・24日、ブリード副首相は、IMFミッションのモルドバ入りは5月末になるだろう旨発言。同ミッションは、モルドバの政府機関と新たな協力プログラムについて話し合いを行う予定。モルドバ側は、本年中に1億5,000万ドルまでの支援を受けることを期待。

▼対モルドバ支援

15日、キシナウを訪問した角大使は、ガブリチ首相と、平成26年度中小企業ノン・プロジェクト無償資金協力に署名。本プロジェクトは、日本の中小企業が生産する教育関連機材を供与することで、教育分野で約98万ドル相当の支援を行うもの。

※本月報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)